

e「泣ける本」

ウルルンな名場面をお届け
泣いて、すっきりしましょ



『号泣する準備は
できていた』
江國香織 1470円/新潮社

*lose up

「私、子供のころブウちゃんって呼ばれていたのよ」
たとは夫に、そう言ってみることがある。
「十七歳のとき、はじめて男の子とデートをしたの」
でも、それは、そう言葉にした瞬間に、私の言いたかったこと
——言ってみようとしたこと、どうでもいい、あるいはどうしよう
もなかった日々のこと——とは違う何かになってしまふ。

（江國香織 著 号泣する準備はできていた）より
「じゃこじやこのビスケット」から

短篇集「号泣する準備はできてい
たは、第130回直木賞受賞作。著者
は熱烈なファンをもつ人気作家・江
國香織さんです。
今作も、切ない江國ワールドは健
在！ 日常のなかでかすかに感ない
がら、あいまにしたままの不安の
正体と向き合ってしまった人々の物
語です。特に、17歳のときのほろ苦
い恋を振り返る「じゃこじやこのビ
スケット」という一篇は、既婚者な
ら必ず心を動かされるはず！
ストーリーは妻の若い日思い出
を描いたもの。誰よりもお互いを熟
知している夫婦だつて、やはり他人
と感じる一瞬があります。こんな
に今近くにいるのに共有できない思
い出や感情…。たとは17歳の初マ
ートを思い出すと、とめどなく涙
がこぼれそうになる。そんな妻の気
持ちは夫にはわからない。妻ももち
ろん、あのときに戻れないと、知っ
ているけれど…。このほかにも、切
なすぎる珠玉の12篇です。

新刊 Review

「ゆらしい島の
スローライフ」



金丸弘美
1365円/学習研究社

「ゆらしい」とは奄美諸島・徳之島の方言で「ゆっすり」の意味。東京から引越越し、本場のスローライフを実践した著者が教えてくれる、生きる喜び。思わずなごんでしまふ絵と写真や島料理レシピ掲載もうれしい。

「かづきれいこの
メイク大事典」



かつきれいこ
1500円/扶桑社

メイクのどんな悩みも解決してくれるかづきれいこさんは、女性たちの救世主。この本は、独自の理論と実践方法がまごめられ、まさに「かづきれいこ」の集大成「大事典」というにふさわしい一冊！

「負け犬の遠吠え」



酒井順子
1470円/講談社

「30代・未婚・子なし」の女性は「負け犬」か？と今、新聞・雑誌で話題沸騰中の辛口エッセイ。それなりに華せですから未婚の30代女子をほうつておいて、という著者、共感できるか否か。まずは読んでみよ。

「暮らしの
手作りレシピ」



吉沢深雪
1155円/主婦と生活社

世界にたったひとつ。それが手作りのうれしさ。でも手間がかかるから大変だし、と躊躇している人。必見。切手だけ、貼るだけ、まっすぐ縫うだけ。あったかいお気に入り簡単に作れちゃう秘密がぎゅっしり。

「13歳の
ハローワーク」



村上龍
2730円/幻冬舎

「フリーターに未来はない」と厳しい主張をする村上龍さん。好きなことを追いつけ、仕事にして生きろ。道はない。あらゆる職業を紹介したこの本は、好きなことを見つけたら助けのひょう。親子でいっしょ。

「お嬢さん」が知っておきたい
意外な疑問350」



吉良俊彦 & 女子大生300人委員会
599円/光文社

学校で街でお店やコンビニで。そういえば、「？」と今、感じる疑問「焼いてないのに鍋焼きうどんというのはなんでだろう？」など、女子大生たちの350の身証な「なんでだろう？」。思わずひざを打つ答えがすっぴん！